

平成27年度 部活動再編

すべての子どもが社会に出て自立して
生きていく力をつけることができる教育の確立

1 現在地と目的地

- ・小中連携、地域連携
- ・本気の勝負、本当の達成感、本当の充実感を味わえる部活動に再編

↑ 部活動による学校活性化

- ・生徒数減少による**慢性的な部員不足**
- ・心の奥底では「どうせ勝てない」といった**あきらめ**
- ・一生懸命のレベルの低さ (**自己満足**)

目的地



現在地



2 再編に向けての視点

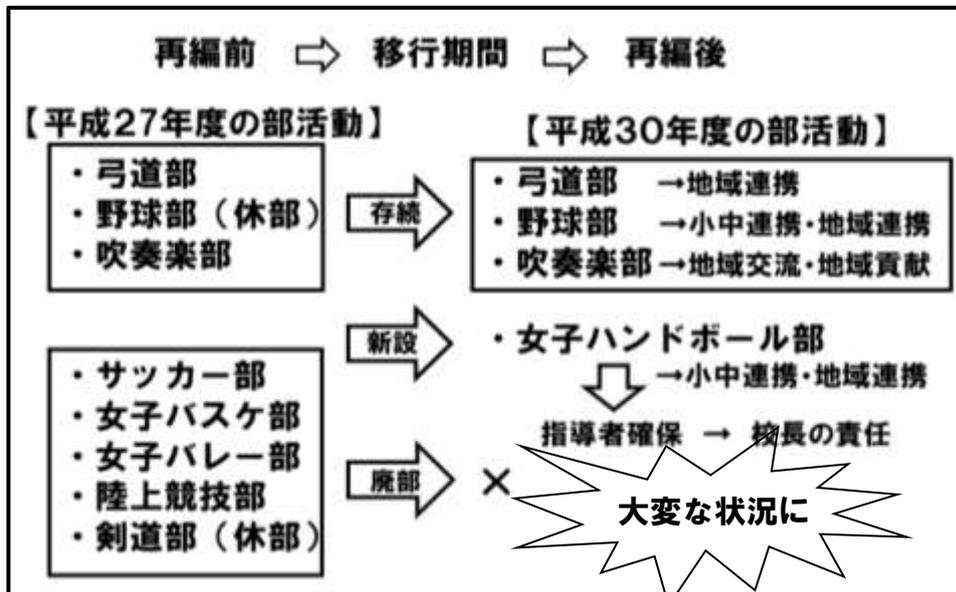
バスケットボール サッカー部	小：社会体育移行後廃部 中：部活動あり
野球 ハンドボール	小：地域スポーツ活動。 中：野球部休部、ハンド部なし

剣道 バレーボール	小：活動なし 中：バレーは合同部活、剣道部休部
弓道	町：伝統的な競技
吹奏楽	小：活動なし 中：文化系唯一の部活動

このミスマッチを解消したい。

生徒の成長と部活動の未来をどのように描くことができるのか
(校長の責任)

3 再編案



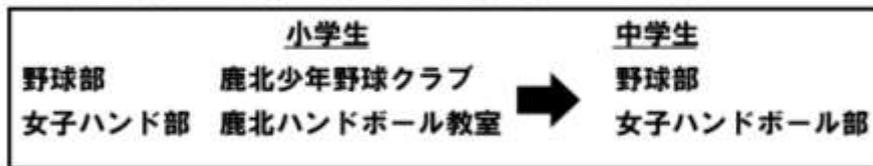
再編案を教職員で
検討・共有

部活動再編委員会
による検討

小中学校長
小中学校PTA会長
地域スポーツ指導者
地域体育指導員
地域の有識者

4 再編が始まってからの変容

小中連携・地域連携（社会体育との連携）



部員数 野球【H27→0名】 女子ハンド部【H28新設】

	H28	H29	H30	
野球部	6名	12名	23名	全校男子38名
女子ハンド部	7名	12名	16名	全校女子29名

本気で部活動に取り組み、学校全体のリーダーに成長。学校生活が引き締まり、活気・意欲・チャレンジ精神が高まる。→スクールプライド



キャプテン会



部活動集会

5 さまざまな取組

キャプテン会 2週間に1回

- ・自治力育成の場
- ・課題協議・行動目標設定
- ・部活動集会企画・運営

部活動集会 キャプテン会翌日

- ・部活動生交流の場
- ・課題と行動目標共有
- ・各部の目標・練習内容紹介等

合同アップ 20分間

- ・運動部・文化部とも参加
- ・部活動開始時刻統一、高いモチベーションでスタート
- ・キャプテン会がリーダーシップを発揮する場

クラブチーム交流 ロアツソ熊本ジュニアユース・熊本北部リトルシニア

- ・指導者との懇談会・指導者による授業参観



合同アップ



ロアツソ熊本授業参観

6 指導者の変容

指導の重点を共有

- 部活動の学びを部活動以外で生かせる指導。
- 集団での学びを一人の時でも生かせる指導。
- 怖い指導者ではなく、厳しい指導者へ。
- 目標達成に向けての本気の指導。

学校再生の視点

- 「小規模校だから」からの脱却。
- 部活動での頑張りや学校生活に生かす。
- 部活動を通して地域を元気にする。



7 交流活動 ～本物に触れる～

ハンドボール教室【城北高校ハンドボール部との交流】

- 一流の人物・一流のプレーに触れる。
- 小中学生男女誰もが参加。
- 身近な先輩へのあこがれ。
- ハンドボールの啓発。



8 H30山鹿市中体連大会

再編を始めた年に入学した生徒が、今年3年生。いよいよ勝負の年！

野球部【準優勝】県総合体育大会出場

決勝戦は最終回に2点差を追いつき、延長戦での惜敗。九電旗市予選では見事優勝し、市代表として県大会出場。

女子ハンド部【準優勝】県総合体育大会出場

創部当初、山鹿中に31対1で大敗したチームが、30年度決勝で山鹿中に17対15と迫るも惜敗。

弓道部【男子団体優勝】県総合体育大会出場

男子団体は、昨年度の市中体連から2連覇。個人代表2連覇。県大会でも、一昨年度と昨年度、男子団体2連覇。



9 H30熊本県中学校総合体育大会

野球部【県ベスト8】

市中体連決勝では延長サヨナラ負け。県中体連1回戦では7回サヨナラ勝ち。

女子ハンドボール部【県3位】

市中体連決勝では、3年間打倒山鹿中を目標に頑張ったが2点差惜敗。県中体連大会準々決勝で再び山鹿中と対戦、1点差で劇的勝利。

弓道部【女子団体3位】【男子団体5位・男子代表個人3位】

女子団体は2年生1名、1年生1名と若いチームで大健闘。男子団体は県大会3連覇を逃すも意地の個人3位。



全校生徒67名の小規模校でも、やればできる！

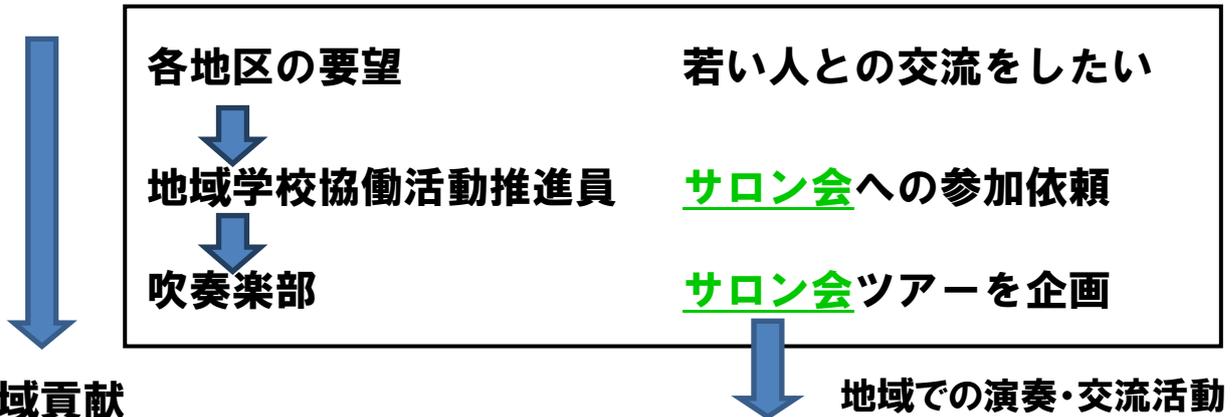
10 吹奏楽部

県吹奏楽コンクール 銅賞

日々の練習→自立して生きていくための力



地域学校協働活動



地域貢献
自尊心涵養



- | | |
|------------|--------------|
| 8/4【岳間夏祭り】 | 8/4【広見星空まつり】 |
| 8/10【柚の木谷】 | 8/20【東野】 |
| 8/21【枝川内】 | 8/22【南松尾】 |
| 8/24【高井川】 | |



11 校長として

生徒、保護者（小中学校）地域の方々、保小中教職員と徹底して話をする。（課題と再編後の姿を共有）

全員に納得してもらうことができないことを前提に、それでも**誠実に最善を考える。**
※校長がそこまで言うなら...

自分がこれが一番よいと思う再編の道を考えたのだから、何があっても**やり通すという覚悟。**

ホームページ上で部活動生の頑張り・活躍を紹介する。（アクセス数は年々増加。多いときには500件）

校長先生、ハンド部をつくってくださりありがとうございました。（卒業式の日）

高校でもハンド部に入り、世界ハンドでボランティアをして、西浦先生に恩返しします！



2年生の夏に、廃部となったバスケ部から悩んで悩んでハンド部に移った生徒